

豊年野菜神輿



ほうねんやさいみこし
豊年野菜神輿は、本町二丁目（旧一日市町）において、布市神社の秋祭りに行われる行事です。行事は戦時中などに中断を繰り返しましたが、昭和50年（1975）に地元の有志が^{ほっき}発起人となって復活させました。

神輿には、ニンジン、玉ねぎ、栗、シシトウ、レンコン等の野菜や果物が装飾され、神輿の屋根は^{わら}稲藁、その^{いただ}頂きにはススキ等で製作された^{ほうおう}鳳凰が載せられます。地元^{ろうやくなんによ}の老若男女によって神輿が担がれ、同時に^{かんぬし}神主やヤヒコババ、^{みこ}巫女に扮した子どもも町内を練り歩きます。

豊年野菜神輿は、野菜を装飾する神輿として全国でも大変珍しいもので、本町^{かわい}界隈の秋祭りを盛り上げます。



野菜や果物で装飾された神輿。行事の前日に飾り付けをします。

保持団体 野々市豊年野菜神輿保存会
市指定無形民俗文化財
指定年月日 令和5年7月1日